

令和元年度あきる野市地域自立支援協議会 第2回全体会記録

- 1 日時 令和元年11月1日(金)午後1時30分
- 2 会場 あきる野市役所5階503会議室
- 3 出席者 高野委員、塩野委員、藤間委員、加藤委員、今坂委員、長谷川委員  
柳瀬委員、森田委員、源委員、深澤委員、石井委員、田中委員、馬場委員  
立石委員、貝瀬委員、鈴木委員
- 4 議事
  - (1) 平成30年度指定相談支援事業者事業報告  
あきる野市障がい者相談支援センター
  - (2) 平成30年度あきる野市障害福祉サービス実績報告
  - (3) 各部会からの活動報告(令和元年6月～9月開催分)
  - (4) その他
    - ①あきる野市障がい者防災・スポーツフェア2019報告
    - ②障害者週間について
    - ③指定管理について

開会 障がい者支援課長
議事 進行 高野会長
(1) 平成30年度指定相談支援事業者事業報告 障がい者相談支援センターから資料に基づき報告 質疑応答 (委員) <u>相談支援を利用している障がい者(児)の人数について</u> ・相談支援を利用している障がい者(児)の年間利用実人数が412人となっているが、職員1人当たり何人のケースを担当しているか。 (回答)・5人の常勤職員が他の事業と兼務しており、一般相談を主にしている職員は約100人の相談を受けている。 承認手続き：全員賛成(拍手)により承認
(2) 平成30年度あきる野市障害福祉サービス実績報告 障がい者支援課、青梅公共職業安定所、都立あきる野学園から資料に基づき報告 質疑応答 (委員) <u>地域相談支援の実績について</u> ・サービス等利用計画作成支援の他に、地域相談支援の実績はあるか。 (回答)・地域相談支援は平成30年度には実績はなかったため、記載されていない。 (委員) <u>都立あきる野学園の卒業生の進路について</u> (回答)・卒業時に進路が決まらなかった生徒も7月頃に就職につながった人もいる。ま

た卒業後も支援を継続しながら自宅で生活している人もいる。

(委員) ヘルパー不足について

・利用希望の登録は出来てもヘルパーの人員不足で利用が出来ないケースもある。

(回答)・家事援助等短時間で行うサービスについては、人材が見つかりにくいという事があるのかもしれない。

(委員) 移動支援や短期入所について

・移動支援や短期入所を利用したいが、事業所に空きがなく、利用出来ない場合がある。

(回答)・事業所が増えても利用者も増えており、受け入れが難しい状況。サービスの需要と供給のバランスが取れると良いと考える。

(委員) ヘルパーの質について

・事業所が増えるだけでなく、ヘルパーの質の向上の問題もある。

(回答)・平成30年度の制度改正(報酬改訂)により、事業所職員を研修に参加させ、特別加算が取れるよう取り組んでいる事業所もある。

(委員) 災害時の対応について

・支援の必要な人が避難しやすいよう、整備をして欲しい。

(回答)・災害の際は、まず自助・共助が必要となるため、日頃から親族や隣近所の人との連絡を取り合う事が必要となる。原則として災害発生時には、学校や体育館等が主な避難所となる。台風19号の時は、市の職員が避難所対応し、被災地域に保健師が訪問等をした。

承認手続き：全員賛成(拍手)により承認

(3) 各部会からの活動報告

各部会長から資料に基づき報告

質疑応答なし

(4) その他

①あきる野市障がい者防災・スポーツフェア2019報告：あきる野市障がい者団体連絡協議会、ボランティア、都立秋留台公園、秋川消防署等と連携して実施。延べ3,131人の参加があった。

②障害者週間について：令和元年12月2日(月)～6日(金)に市役所1階コミュニティホールで展示をする。

③指定管理について：市が設置者となっている通所支援施設の令和3年度以降の運営について、地域自立支援協議会としての意見をいただきたいので協力を。

閉会 障がい者支援課長

第3回全体会は令和2年2月頃開催予定。